

栃木県監査委員告示第3号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定に基づき、栃木県知事から、監査の結果に基づき措置を講じた旨通知があったので、同項の規定により、次のとおり公表する。

令和元（2019）年11月29日

栃木県監査委員	五月女	裕久彦
同	阿部	博美
同	金井	弘行
同	平野	博章

監査の結果の措置状況

監査対象機関名	監査年月日	監査の結果	講じた措置
消防防災課	令和元（2019）年 8月9日	平成30（2018）年度の定期監査における注意・検討事項「航空用携帯無線機の備品管理台帳を作成しなかった。」の是正措置が講じられていなかった。	管理台帳の作成漏れが判明した予備監査当日に台帳を作成しました。 再発防止のために、航空担当の職員に対して、備品に関する事務取扱いの周知徹底を行いました。 また、本課職員が定期的に航空隊事務所に出向いて財務会計事務に関するチェックを行い、物品管理を含め適正な事務執行に努めて参ります。
		収入・支出事務のうち、平成29（2017）年度に実施した無線設備定期点検に係る手数料の支出において、歳出予算の執行に必要な書類を作成せずに定期点検を実施した上、支出手続きを失念し、翌年度に支出しているものが1件134,700円あった。	航空担当職員に対して、財務会計研修資料に基づいた指導を行い、改めて財務事務執行の知識の習得を図りました。 また、本課職員が定期的に航空隊事務所に出向いて財務会計事務に関するチェックを行うとともに、執行何から支出までを管理する一覧表を作成して予算執行管理を行い、定例的な支出事務は原則本課において執行するなどして、適正な事務執行に努めて参ります。
		予算執行のうち、消防航空隊設置無線局に係る電波利用料の支出において、事務手続きが遅延し、	航空担当職員に対して、財務会計研修資料に基づいた指導を行い、改めて財務事務執行の知識の習

		<p>納付期限を超えて支出したため、延滞金が生じたものがあった。</p> <p>さらに、延滞金の支出科目は賠償金とすべきところ負担金で支出していた。</p>	<p>得を図りました。</p> <p>また、本課職員が定期的に航空隊事務所に出向いて財務会計事務に関するチェックを行うとともに、執行何から支出までを管理する一覧表を作成して予算執行管理を行い、定例的な支出事務は原則本課において執行するなどして、適正な事務執行に努めて参ります。</p>
<p>県東環境森林事務所</p>	<p>令和元(2019)年 7月12日</p>	<p>工事事務のうち、治山事業費に係る落石予防工工事の設計積算において、モノレールのレール賃料の計上を誤ったことにより、設計額が過大となっているものが1件841千円あった。</p>	<p>設計積算に当たっては、以下の項目を追加して再発防止に努めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新たに検算者一名を追加して、二人体制での検算の実施 2 経験豊富な職員が設計内容をチェックする設計審査会の新設 3 設計内容についての習熟度を高め設計精度の向上を図るため、指名選考委員会において設計者が設計内容を説明する機会の新設 <p>また、今回の事案のように設計する機会の少ない工種・工法については、積算マニュアルを作成しました。</p>
<p>県北健康福祉センター</p>	<p>令和元(2019)年 6月25日</p>	<p>財産・物品管理等事務のうち、生活保護費返還金の債権管理において、消滅時効が完成していないにもかかわらず不納欠損の整理をしていたものが4件378,343円、消滅時効が完成したにもかかわらず不納欠損の整理をしていないものが5件331,047円あった。</p>	<p>消滅時効が完成していないにもかかわらず不納欠損の整理をしていたものについては、4件全ての不納欠損の取消を行い、消滅時効が完成したにもかかわらず不納欠損の整理をしていないものについては、5件全ての不納欠損の整理を完了しました。</p> <p>今後は、職員へ消滅時効の理解を徹底し、複数の職員によるチェックを実施するとともに、管理資料を電子データ化して時効に関する</p>

			る情報更新や時効完成の抽出確認が容易にできるよう改善し、再発防止に努めます。
岡本台病院	令和元(2019)年 7月9日	収入・支出事務のうち、所得税及び復興特別所得税の源泉徴収事務において、所得税及び復興特別所得税の計算方法を誤ったことから、不納付加算税及び延滞税を納付しているものが2件 65,200円あった。	計算方法の誤りは、同一人の当直勤務分と外来勤務分の報酬を分けて税額を計算していたため生じたものです。今後は、同一人の報酬を合算して税額の計算を行い、複数の職員がチェックするなど、再発防止に努めます。
県南健康福祉センター	令和元(2019)年 7月12日	収入・支出事務のうち、生活保護費の支払いにおいて、受給者の振込先口座を誤ったことにより第三者への誤払いがあったが、受給者からの問い合わせにより判明し、支払いの修正を行っていたものが、1件 207,470円あった。	生活保護費の支払いに当たっては、支出事務を担当する総務企画課の職員による支出決議書記載の口座名義人及び口座番号の複数チェックに加え、生活保護事務を担当する生活福祉課の職員による確認を実施し、再発防止に努めます。
農業試験場 (「いちご研究所」、「原種農場」を含む。)	令和元(2019)年 6月7日 8月20日	予算執行のうち、農業試験場施設整備費に係る施設新築工事等において、1件の金額が5千万円以上の工事請負費については、公所の長に対し委任されていないにもかかわらず、支出命令を行っているものがあった。	歳出予算令達通知書により工事請負費の令達が行われた場合、当該令達に係る工事の内容、予算額、執行伺、契約伺等を複数人(管理課長、工事請負費執行担当者、歳出予算令達通知書管理担当者、予算担当者)で公所の長に委任されている額内の工事であるか確認するという体制を整えました。また、工事請負費に係る支出決議書については、従前の決裁ルートに加え、予算担当者が上記の令達時点での確認を踏まえ、公所の長に委任されている額内の工事に係る支出であるか再度確認するという体制を整えました。
経営技術課	令和元(2019)年 8月20日	予算執行のうち、農業試験場施設整備費に係る施設新築工事等において、課に予算の執行残額がないことを確認せずに執行伺及び	今後は、内部チェック体制の強化を図るとともに、財務規則等関係規則を十分確認の上、適正な事務執行を行います。

		<p>契約伺を行い、契約を締結しているものがあつた。</p> <p>また、当該工事において、1件の金額が5千万円以上の工事請負費については、公所の長に対し委任されていないにもかかわらず、財務規則を確認しないまま、公所で支出するよう指示し、更に予算の令達を行っていた。</p>	
		<p>収入・支出事務のうち、平成30(2018)年度担い手育成・確保等対策事業補助金等の調定において、決裁を受けていないものが3件5,883千円あつた。</p>	<p>国庫補助金請求時には、必ず併せて調定の決裁を受けることとします。</p> <p>今後は、内部チェック体制の強化を図るとともに、財務規則等関係規則を十分確認の上、適正な事務執行を行います。</p>
		<p>財産・物品管理等事務のうち、特許権等の複数の無体財産権について、平成30(2018)年度の予備監査において指導されたにもかかわらず、最長で2か年度に渡り、公有財産台帳の整理をしていなかった。</p>	<p>不備のあつた部分については、今年度7月上旬に整理を完了しました。</p> <p>今後は、財産の増減があつた際は速やかに登録を行うことを基本に、チーム内で業務の進捗状況の確認を徹底します。</p> <p>さらに、年度末には、当該年度の財産登録情報について、公有財産管理システムとの照らし合わせを行います。</p>
生産振興課	令和元(2019)年8月20日	<p>補助金等事務のうち、青果物生産安定互助対策事業費補助金(県単野菜価格安定事業(一般品目))において、過年度に過大に納付された当該補助金の返納金分を併せて算定したことにより、補助額が過大となっているものが、1件45,722円あり、なおかつ、補助金交付要領で定めた交付率を超えて支出していた。</p> <p>また、過大分の支出は支出科目を</p>	<p>補助金等事務を正しい手続きで確実に実施できるよう、新たにチェックリストを設け、複数人(事業正担当・副担当・担当リーダー)で事業計画書等の審査を行うこととしました。</p> <p>また、万が一誤りが生じた場合の手続きを取りまとめ、担当内で共有いたしました。</p>

		償還金とすべきところ、補助金に含め支出していた。	
農地整備課	令和元(2019)年 8月20日	補助金等事務のうち、土地改良区体制強化事業補助金において、交付対象経費でない土地改良区役員の報酬等を補助対象としたため、補助金が過大となっているものが1件169千円あった。	事業者から交付対象経費を精査修正した実績報告書の提出を受け、県はその報告に基づき再度確認検査を行ったところ、交付決定額に変更が生じないことを確認したので、修正報告書を受理しました。 今後は、事務担当者及び検査員によるチェックを徹底し、適正な事務の執行に努めます。
鬼怒水道事務所	令和元(2019)年 7月9日	工事事務のうち、薬品注入設備点検修繕工事の設計積算において、調節計の据付・調整に係る作業人数の計上を誤ったため、設計額が過大となっているものが1件1,242千円あった。	設計積算に当たっては、入力数値の再確認により入力ミスを防止するとともに、検算体制の強化や積算チェックリストの導入により検算の徹底を図りました。今後も、これらの取組について、職員への周知徹底を図り、再発防止に努めます。
企業局	令和元(2019)年 7月16日	委託事務のうち、今市発電管理事務所集中監視制御装置等保守委託の設計積算において、工数計算書の保守委託対象機器の台数や業務項目に誤りがあったことにより、機器毎に積算した設計額に過大となっているものが4件302千円、過小となっているものが5件280千円あった。	設計積算に当たっては、適用する積算基準や仕様書に基づき適正に計上されるよう、積算チェックリストを導入するとともに、積算・検算体制の強化を図りました。今後もこれらの取組を徹底し、再発防止に努めます。